令和５年度山口大学研究機器利用サポート制度の利用者募集

「研究機器利用サポート制度」とは，本学の研究機器の利活用の促進及び研究力の向上に資することを目的とした制度です。

本学の教職員・大学院生が新たな着想や取組に挑戦するため，これまで利用したことのない研究機器を利用する際に必要となる費用の支援を行う本制度の利用者を募集します。

１．申請要件

次に掲げるすべての要件を満たす必要があります。

（１）本学の教職員又は大学院生（指導教員の承諾を得た者に限る。以下「教員等」という。）で，研究目的の利用であること。

（２）すべての教員等が共同利用できる機器のうち，教員等が利用する場合に登録料及び利用料等により，利用料金が設定されている研究機器であること。

（３）申請する本学の研究機器について，これまで利用したことがないこと。

２．支援内容

研究機器を利用する際に必要となる利用料金について，10万円を上限として支援します。

※支援料は，利用料金等確定後，リサーチファシリティマネジメントセンターから利用者の所属する部局に対し予算振替を行います。

３．支援期間

次に掲げる期間に利用した利用料金について支援します。

令和５年４月１日（土）～令和５年12月31日（日）

４．申請

支援を希望する者は，「研究機器利用サポート制度申請書」（様式１）をリサーチファシリティマネジメントセンターへメールにて提出してください。

大学院生の場合は，指導教員から提出をお願いします。

５．募集期間

令和５年４月３日（月）～令和５年４月28日（金）

６．利用者の決定

申請書に基づき，リサーチファシリティマネジメントセンターが次に掲げる視点により審査し，リサーチファシリティマネジメントセンター長が利用者を決定します。

なお，応募者多数の場合は，若手研究者（原則として40歳以下）への支援を優先します。

（１）活用方法の拡大（研究機器の活用方法の拡大につながる可能性があるか）

（２）利用者の拡大（申請者の継続的な利用や他の研究者の利用につながるなど，利用者の拡大が期待できるか）

（３）研究力の向上（申請者の研究の進展や他の研究者への波及効果（同じ分野や異分野への貢献）など，研究力の向上につながる可能性があるか）

※審査結果は，募集期間終了後20日を目途に，申請者への通知を予定しています。

７．利用料金は，請求された施設等へその都度，予算振替を行ってください。

※支援料は，支援期間終了後にまとめて利用者に予算振替いたします。

８．報告

　　利用料金確定後，速やかに「利用報告書」（様式２）及び「成果報告書」（様式３）をリサーチファシリティマネジメントセンターに提出願います。

９．支援料

　　提出された「利用報告書」及び「成果報告書」を確認後，リサーチファシリティマネジメントセンターから利用者の所属する部局に対して予算振替いたします。

10．その他

（１）本制度の利用は，旧機器運用統括センターが実施した同制度も含め，１度限りです。

（２）本制度の利用者には，研究機器の利用者拡大に向けた広報活動への協力をお願いすることがあります。

11．提出先・問合せ先

　　リサーチファシリティマネジメントセンター事務室

内線：5498・5259

E-mail：[sh082@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:sh082@yamaguchi-u.ac.jp)

様式１

研究機器利用サポート制度（変更）申請書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請年月日 | 令和〇年〇月○○日 | | | |
| 所　　　属 | 〇〇研究科　〇〇系学域（〇） | | 氏名 | ○○　○○ |
| 電話番号 | （内線）○○○○ | メールアドレス | ○○○○@yamaguchi-u.ac.jp | |
| 指導教員氏名 | |  | | |
| 利用予定の施設名 | | ○○○センター又は○○○施設 | | |
| 利用予定の研究機器名 | | ○○○○○○ | | |
| 利用予定の研究機器利用の有無 | | 利用予定の研究機器をこれまで利用したことがない   * （利用したことがない場合は，**□**枠内へ☑） | | |
| 利用予定の期間 | | 令和○年○月○日～令和○年○月○日 | | |
| 利用予定回数又は利用予定時間（支出予定額） | | 延べ○○回　又は  延べ○○時間（○○時間○○分×○回）  （合計○○，○○○円（単価×○○時間又は回）） | | |
| 利用目的　　　【記入例】 | | | | |
| 【研究概要】  　このたびは○○○の研究を目的とし，これまでの研究において課題となっていた○○○を明らかに（解決）するため○○○を実施する。  【研究機器の活用方法】  　○○○を明らかに（解決する）ため，これまで利用したことのない○○機器を用いて○○○を測定することで，○○○に有効か検証する。○○○に有効となれば，今後，同様の測定が増えることも考えられる。  【研究機器の利用拡大】  　この検証の結果，○○○に有効となった場合には，継続的な利用が想定される。また，○○○を研究している分野の利用が増える可能性も考えられる。  【研究力の向上】  　○○○の課題が明らかになる（解決する）ことで，○○○に繋がる（○○○分野の○○○の研究に貢献できる）可能性がある。  【その他】  　○○○○○○○。 | | | | |

※申請書は１ページとします。

※利用申請書の個人情報は，本制度以外の目的では使用しません。

※変更が生じた場合，変更箇所を２段書き（上段：変更前，下段：変更後）して提出してください。

様式２

研究機器利用サポート制度利用報告書

報告日　令和○年○○月○○日

所属

氏名

　下記のとおり報告します。

記

利用料金　　○○○，○○○円

|  |  |
| --- | --- |
| 利用料金の内訳 | |
| 利用した回数又は利用時間  （利用料等支出額） | 延べ○○回　又は  延べ○○時間（○○時間○○分×○回）  （合計○○，○○○円（単価×○○時間又は回）） |

※支払に必要となる利用料金が分かる資料（予算の振替依頼又は請求書など請求額が

分かるもの）を添付すること。

様式３

研究機器利用サポート制度成果報告書

報告日　令和○年○○月○○日

所属

氏名

下記のとおり報告します。

記

|  |
| --- |
| 利用した研究機器に関して，以下の内容を簡潔に記載すること。 |
| ①自身の研究計画（又は研究内容）への適合性及び想定される理由  ②扱いやすさに対する評価  ③利用環境に関する所感  ④本サポート制度に対する所感  ⑤その他，共同利用機器やリサーチファシリティマネジメントセンターへの要望等 |

※記載いただいた本成果報告書は今後の活動の参考資料とさせていただきます。